



2021年9月8日

各 位

会 社 名 株式会社ギフト
代表者名 代表取締役社長 田川 翔
(コード：9279、東証一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 末廣 紀彦
(TEL. 042-860-7182)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2020年12月15日に公表いたしました2021年10月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年10月期 通期連結業績予想数値の修正 (2020年11月1日～2021年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,150	百万円 1,080	百万円 1,130	百万円 590	円 59.41
今回修正予想 (B)	13,730	930	1,480	790	79.37
増減額 (B-A)	△1,420	△150	350	200	—
増減率 (%)	△9.4	△13.9	31.0	33.9	—
(ご参考)前期実績 (2020年10月期)	10,982	461	512	112	11.36

(注) 当社は、2020年3月19日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。1株当たり当期純利益は、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 修正の理由

現下の緊急事態措置対象自治体ならびに、まん延防止等重点措置対象自治体からの営業時間短縮要請に応じたことにより順調に回復を図ってきた売上も足踏みせざるを得ない状況に至っております。

す。ただし、当該売上の回復基調の停滞は、あくまでも営業時間短縮の影響によるものであり、商品品質、店舗オペレーション、及び物流の改善を徹底することにより、当第3四半期連結累計期間においては、事業回復及び収益性の向上に一定程度の手ごたえを感じることができました。また、国内の直営店及びプロデュース店における新規出店を減速させることなく積極的に取り組むことにより、増収増益（大幅営業増益）を達成いたしました。加えて、営業時間短縮に伴う時短協力金、雇用調整助成金等を収受できることにより、経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益については、第3四半期時点で通期連結業績予想数値を大きく上回ることとなりました。

このことから、2020年12月15日に公表いたしました2021年10月期通期（2020年11月1日～2021年10月31日）の連結業績予想を修正いたします。

以 上